



有終の美を！

校長 宮入 祥郎

早いもので今年に入ってから、3か月目に突入しました。3月は別名「弥生（やよい）」とも呼ばれます。弥生は「いやおい」を縮めたもので、「ますます成長する」という意味から「草木が生い茂るさま」を表しているそうです。今年の冬は温暖でしたから、間違いなく草木は生い茂る準備を万端にしていることでしょう。今年の東京の桜の開花予想も、例年よりもかなり早めの予想になっているようです。

そのように着実に春を迎えようとしている中、新型の感染症を警戒して、様々なイベント・行事が縮小や中止に追い込まれているのが残念でなりません。普段から睡眠・運動・食事・衛生面に留意して、健康管理に取り組むことが大事なのだそうです。文林中の皆さんも、手洗い・うがい・体力温存に取り組んで参りましょう。

さて、春は別れの季節でもあります。今月は、いよいよ3年生の卒業式を迎えます。卒業式は学校にとって最大の行事であるとともに、3年生にとっては9年間の義務教育の締めくくりとなります。残された中学校生活を噛みしめるとともに、3年間を振り返り、今までお世話になった方々への感謝を忘れずに卒業式当日を迎えて欲しいと思います。

3年生の皆さんは、私が出会った時から3年生でした。出会った時から文林中の最高学年として後輩を導き、学校を盛り上げ活躍してくれました。中でも数々の場面におけるプレゼンテーション力の発揮や、生徒の力で作り上げた学芸発表会での英語劇は、とても印象的であり後輩達の学びにも繋がるものでした。そのような3年生の皆さんには、「終わり良ければ総て良し」の言葉のとおり、最後まで全力で3年間のまとめをして、有終の美を飾ってくれることを期待しています。きっとそれぞれの道に向かって、夢と自信をもって立派に巣立ってくれることでしょう。ここで、イチローさんの名言を掲載させていただきます。

「壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている。」(イチロー：元プロ野球選手)

1・2年生にとっては、3年生と一緒に生活できるのもあとわずかです。もう既に3年生からは多くを学んでいることと思いますが、3年生の良い所をしっかりと引き継いだ上で、これからの文林中を築いていく準備をしてください。進級する心構えを万全に作り、4月に入学する新入生を迎える準備をお願いします。4月からの新年度が、新しいメンバーでスムーズにスタート出来るよう、それぞれの学年が「頼れる・手本になる」先輩になってくれることを期待しています。

～2月の主な行事～

☆2月6日(木) 1年生国際理解教室(大使館訪問)

当該国の文化や歴史を学び、多様性や文化の違いを理解するとともに、大使館の役割を学び、大使館の重要性を理解し国際感覚を醸成することを目的に、校外学習として大使館訪問が行われました。1年生はこの日、2つのグループに分かれてアルバニア大使館と東京ジャーミィ・トルコ交流センターを訪問しました。



☆2月11日(火) 千駄木フェスティバル

文京区青少年委員会主催、千駄木フェスティバルが第八中学校体育館で行われました。文林中と八中の生徒会役員が企画、運営に関わり、地域に住んでいる子供たちに楽しんでもらおうと、様々なアトラクションを用意しての行事です。両校の生徒会役員、ボランティアの生徒の皆さん、お疲れさまでした。PTAの皆様、ありがとうございました。



☆2月14日(金) 2年生鎌倉校外学習

天候にも恵まれ、2年生が鎌倉へ校外学習に行ってきました。事前に準備したスケッチブックを手にし、班員の前でプレゼンテーションを行いました。今年6月には、修学旅行で奈良・京都を訪れます。その際にも、各見学場所にてプレゼンを行う予定です。その時は班員のみならず、海外からの観光客の前で英語でプレゼンをすることとなるでしょう。今回の鎌倉でのプレゼンの成果と課題を活かしたものとなることを願っています。



☆3月の行事予定(詳細はフェアキャストにてご連絡させていただきます。)

19日(木) 卒業式

25日(水) 修了式

23日(月) 保護者会(中止)

祝・受賞

2月17日(月)、都庁におきまして、文林中学校、第八代校長・木内清芳先生が瑞寶雙光章(ずいほうそうこうしょう)を受章されましたことをご報告させていただきます。

木内先生、おめでとうございます。